



『こどもっ家』

「学校に行きたくない。」

1 年生の夏休みのあと、長男が言った言葉がきっかけでした。

子育てに疲れ、自閉症の次男を連れて、藁にもすがる思いで「こどもっ家」に参加しました。

緊張していたのとは裏腹に、気持ちよく迎えてくれました。

いつもニコニコ遊んでくれ、たまに叱ってくれるおばあちゃん、おじいちゃん達がいる。子ども達が楽しく過ごせるように気を使ってくれる大人たちがいる。

子ども達を中心にほどよくゆるく過ごせる空間。

家ではいつもお姉ちゃんを頑張ってる子もここでは妹になれたり、いつもは一人っ子でワガママな子が、下の子のお世話をしていたり。

何もできないと思っていた子がスタッフのお手伝いをしていたり。

お母さんの息抜きに、美容院に行きたいから、そんな理由でもいい、少し離れると、またぎゅーっとしてあげられそうな気がするから。

(こどもっ家利用 保護者 T さん)



こどもっ家に遊びに来てくれる T さんのこども達は、来る度来る度違う側面を見せてくれます。その成長していく姿にスタッフも驚き、今日はどんなことをやるのかな？と、とても楽しみにしています。

お母さんも一緒に笑ったり、違う時間を過ごしたりして、少しでも心が軽くなって笑顔になってくれたらいいな♥と思います。

『こどもっ家』

10月に行われた「第17回静岡市社会福祉大会」にて、笑顔が素敵な坪井看護師が受賞いたしました！



社会福祉法人、施設、団体従事者部門で、永年功労したとして、表彰していただきました。

泉の会の会長はじめ、スタッフの皆様に支えられて、気持ちよく仕事をさせて頂いています。

講演会では、「スマホ廃人」著者 石川結貴氏の「地域で育むこどもの未来 いま、こどもの世界で起きていること」を拝聴しました。

地域から排除され、居場所やつながりを失っている子ども達の現状に慄然としました。

まず、自分ができること、「こどもっ家」などにも積極的に携わらなければならないと思います。

(看護師 坪井芳美)



『床屋さん』

利用者の散髪は会長がやります。

開所当時からずっとですので、こちらも年季が入っています！

「襟足を短くそろえてあると、清潔感が出て、若々しく見えます。」というのがカットのコツだそうです。

みんな喜んで散髪の日を待ってます。



『デイサービスにて』

スタッフSの庭に渋柿の木があり、毎年たくさんの実がなります。

それを採って干し柿にするのですが、今年は近年稀にみる大豊作で、スタッフだけでは皮むきが追いつかない！というわけで、通所のおばあちゃんたちの手を借りることに。

「手が思うように動かないよ。」

「昨日は何を食べたっけ？ 忘れちゃった～」

などと言っても、包丁を持たせたら、なんと上手に皮むきをしてくれること！ あっという間に終わってしまいました。

むいた柿は洗濯竿を占領し、たくさん干されて、出来上がった干し柿は寄ってっ亭で販売しています。

もちろん皮むきの報酬(?)として、デイでのおやつにもなってますよ。



美味しくできました



通所利用者
入居者
大募集！

『敬老の日』

毎年恒例の、写真入り色紙を作り、敬老の日を祝いました。
お昼には赤飯を炊いていただきました。
また来年まで健康に気をつけて頑張りよう！



毎日手作りのおいしいごはんです

編集後記★

猛暑から過ごしやすい季節へと時も流れていきます。
今年もあとわずか！早いものですね！

住所 〒424-0841 静岡市清水区追分 3-5-17

電話番号: 054-367-2878

FAX: 054-367-2884

発行責任者 藤下 品子
三浦 香織